

地域のたから 自慢の逸品

「地下鉄」

● 仙台市博物館 学芸普及室長 菅野 正道

日本初の地下鉄

いよいよ仙台市地下鉄東西線が開業になりました。東の荒井駅と西の八木山公園駅を結ぶ約一三・九キロメートルの路線は、地方自治体で作る地下鉄の新路線としては、事実上最後のものになるだろうとも目されています。

実は鉄道研究家の間では、東西線を開業させた仙台は「地下鉄発祥の地」と評されているのです。仙台が「地下鉄発祥の地」であるというのは、何を意味しているのでしょうか？

一般に、日本最初の地下鉄は、東京地下鉄道が昭和二年（一九二七）一月三〇日に開業させた上野・浅草間の二キロメートル余り（現在の東京メトロ銀座線の一部）とされています。しかし実は、この路線より二年前に地下を走る電車が仙台に登場していたのです。それは大正一四年（一九二五）六月五日に開業した宮城電気鉄道（宮城電鉄）なのです。



宮城電鉄以来の地下ホームに入線する仙石線の電車（昭和27年頃 所蔵：亀谷英輝 提供：鉄道交流ステーション）

宮城電鉄

宮城電鉄は、仙台と松島、後には石巻を結ぶ民営鉄道として、大正一一年（一九二二）に会社が設立されました。国有鉄道と同じ軌幅一〇六七mm、電気を動力源として電車や電気機関車を運行する計画でした。

その始発駅は東北本線仙台駅に隣接して設けられることになりましたが、建設が具体化する中で、仙台駅近くで地下に潜り、約三〇〇m進んだ地点に駅を設けることになったのです。短い距離でしたが、都市の地下に営業用の鉄道を走らせて、駅を設けたのはこれが日本初のものでしたのです。

それでは、なぜ宮城電鉄の駅は地下に設けられたのでしょうか？それは、宮城電鉄が東北本線を越し、仙台の市街地中心部へ路線を延伸することを目論んでいたからだったのです。しかし、この計画は、仙台市電の開業や宮城電鉄がしばらくの間、苦しい経営を強いられたこともあって、実現には至りませんでした。

その後、宮城電鉄は昭和一九年（一九四四）に買収されて国鉄仙石線となり、日本初の地下駅は昭和二七年に廃止され、仙石線仙台駅は地上に移されました。地下鉄東西線の計画の一つとして、仙石線を西公園まで延伸させる案もありましたが、実現はしませんでした。しかし平成一二年（二〇〇〇）に苦竹以西が

南北線も「日本初」

ところで、東西線の先輩である地下鉄南北線も「日本初」の称号を持っていることをご存じでしょうか？

南北線が計画された時、仙台の人口規模から利用客の数には限度があることが予想されました。そこで少しでもコストを軽減し、効率的な経営が行えるよう、ワンマン運転や駅業務の効率化を含めたシステムの構築が行われました。その中でファジィ制御による自動運転装置が採用されたのですが、これが日本の鉄道車両として最初のものでしたのです。

南北線にこうした先進的なシステムが採用された陰には、一人の技術者の存在がありました。長年にわたって仙台市交通局で市電の技術者として勤務した（故）佐藤 恵氏です。

市電を熟知していた佐藤氏は、市電の車両が新造される際に、その台車を設計したことで、全国的にも知られた鉄道技術者でした。市電が廃止された後、佐藤氏は地下鉄南北線の計画に携わり、先進的な鉄道システムを作り上げたのです。

実は、佐藤氏の父親は宮城電鉄の技術者でした。仙台の地下鉄は、南北線も東西線も宮城電鉄と深いかわりがあったことを、歴史の1頁として記憶しておきたいものです。

次回からは、仙台市地下鉄東西線開業を記念して「地域のたから東西線編」に沿線ぶらり散歩」がスタートします。ご期待ください。

「仙台市史」完結・仙台市地下鉄東西線開業記念 企画展

—「仙台市史」の成果を語る実物、出しています。

コーナートークを実施！

- 申込不要・常設展観覧料が必要●
- 企画展の展示会場にて、元市史編さん室職員が展示解説を行います。（約30分）

12月25日(金)	11:00 「近世の絵図、ほか」
	13:00 「仙台の門松、ほか」
1月13日(水)	11:00 「伊達政宗文書」
	13:00 「仙台北下の町方」
1月22日(金)	11:00 「古代の文字資料」
	13:00 「中世の留守氏」
2月 5日(金)	11:00 「近世の絵図、ほか」
	13:00 「近代の公文書」
2月19日(金)	11:00 「伊達政宗文書」
	13:00 「能 摺上」

■主催：仙台市博物館 ■共催：仙台市史刊行委員会

「仙台市史」完結・仙台市地下鉄東西線開業記念 企画展

せんだい 再発見！

—こんなことわかりました。平成の「仙台市史」

12月5日(土)～平成28年2月28日(日)

前期：12月5日(土)～1月17日(日) ※会期中、一部展示替えを行います。

後期：1月19日(火)～2月28日(日)

伊達政宗文書は前期・後期で合わせて約40点展示！

【観覧料】常設展示料金でご覧いただけます。一般・大学生：400円、高校生：200円、小・中学生：100円

山崎玄蕃頭等十名宛 伊達政宗書状 個人蔵

市電廃止記念乗車券 館蔵

開館時間：午前9時～午後4時45分（最終入館午後4時15分）●12月の休館日：毎週月曜日、12/24(木)、12/28(月)～1/4(月)

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM TEL:022-225-3074 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地（仙台城三の丸跡） http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/